

ファッション
One Point
アドバイス

大人のチェック



今シーズンのトレンドといえば何といってもブリティッシュスタイル。なかでも筆頭は英国トラッドを象徴する「チェック」です。温もりのあるチェックのネルシャツに懐かしさを憶える人も多いかもしれません。

だれもが慣れ親しんだ伝統の柄ですが、今年は素材や配色などのバリエーションが増え、モダンに進化しているのが特徴です。例えば、シルクシフォンを使ったタータンチェックのブラウス。透け感のある素材との組み合わせがとてもエレガントです。ほかにもウエストなどディテールにレザーを使ったパンクテイスト漂うチェックのドレス、クラシカルな千鳥格子をアシンメトリーにカットしたブルオーバーなど、異なるテイストとミックスされた斬新なデザインがとても新鮮。さらに、光沢のある素材やパステルカラーを配したチェックなども登場しておりコーディネートの幅を広げてくれそうです。

これまでのカジュアルなイメージとはひと味違う、大人仕様のチェックでふだんの着こなしをランクアップさせてみませんか。デザインの効いたアイテムを取り入れるもよし、同系色でまとめたり、柄のアイテム同士を重ねたりするもよし。シンプルに黒いアイテムと合わせるだけでもチェックが映えてステキです。このときに一つ気をつけたいのがチェックの「幅」。背が高い人は幅の太いチェック柄、低い人はせまい柄を選ぶとバランスよく映ります。迷ったらバッグやシューズなどから取り入れてみてはいかがでしょう。今シーズンはチェック小物のラインナップも充実しています。気負わずにトライできるものなじみのある柄ならではのシックなチェックスタイルを気軽に楽しんでみてください。



暮らしに役立つ ネット情報

～子供たちのエコ意識を育てる～

こども環境局

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyoku/kids/>

地球温暖化などによる異常気象が続いています。子供たちの未来にとっても、地球環境の変化が、大きな不安になっています。福岡市では、子供たちにわかりやすく環境問題を理解してもらえよう「こども環境局」というサイトを開設しました。このサイトでは、子供たちが自分でできる実験テーマとして、「空気のごれを調しらべよう」や「かみのリサイクル」の実験の手順が紹介されています。「江戸時代のエコを学ぼう」というコーナーでは、着物や紙などを再利用していた江戸時代の生活の知恵を紹介しています。また「エコ度チェック」「エコ神経衰弱」など、遊びながらエコ意識を育てるコーナーもあります。

暮らし応援ニュースレター HOMEDRY NEWS ホームドライニュース No. 54



ファッション・ワンポイント:大人のチェック
暮らしに役立つネット情報:こども環境局
繊維物語:昔の洗濯は乱暴!? 棒で叩いたり足で踏んだり
衣生活の知恵:ティッシュの油污れもドライなら洗えます!!

まごころクリーニング
ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



へえ～
そんなの

繊維物語

昔の洗濯は乱暴!?

棒で叩いたり足で踏んだり

エジプトの壁画には、洗濯作業とみられる多くの風景が描かれています。



BC2000年頃 エジプト・ベネッサン墳墓の壁画

この壁画を見ると、棒で叩いて洗い、二人がかりでねじって絞っています。



足で踏んで洗う古代ポンペイの洗濯 (BBC 放送Pompeii: The Last Day)

古代ローマの紀元 79 年、ヴェスヴィオス火山の噴火で埋もれたポンペイの遺跡では、18カ所もの洗濯工場が発掘されており、英国放送協会 (BBC) が製作した『Pompeii: The Last Day (ポンペイー最後の日)』というドラマでは、洗濯業を営む一家が登場します。その作業では、プール状の浴槽に衣類を投げ入れ、足で踏んで洗う光景が再現されています。今から考えると、とても乱暴な洗い方のように見えますが、生地が縮んだり、風合いが変わったりすることを気にしなければ、強い力で揉んだり叩いたりすることが、とにかく清潔にするには効果的だったというわけです。

しかし、中世ヨーロッパの貴族のファッションは、シルクやカシミアなどのとても繊細な素材が使用されていた上に、ドレープやギャザーなど複雑な構造ですから、こんな乱暴な洗い方では洗えません。ですから、古代から中世までの装飾的な衣類は、洗うことができず汚れてしまったら捨てるよりほかはなかったのです。なんともモッタイナイ話です。



18世紀のパリ宮廷ファッション

1825年にパリの仕立て屋のジョリー・ペランが、ランプのオイルで洗うとデザインや風合いを変えることなく洗うことができることを発見します。これが今日のドライクリーニングの起源となりました。このことによって、一般の人たちもお気に入りのファッション製品を、末永く楽しめるようになりました。



なるほど
納得!

衣生活の知恵

ティッシュの油汚れも
ドライなら洗えます!!



ドライクリーニングの「ドライ dry」を直訳すると「乾燥」ということになります。このことから、昔の日本では「西洋乾燥洗濯」ともいっていました。だからといって、別に乾燥機のような機械で洗うという意味ではありません。ドライクリーニングは、水ではない油性の液体の中で洗います。水の中に繊維製品を入れて洗うということは、繊維を水で変形させて汚れを落ちやすくし、機械力や洗剤で引き剥がすという方法です。しかしこれでは、シルエットや、繊細な生地の風合いなどは変わってしまいます。ドライクリーニングは、汚れを接着している油分を溶かすことによって洗うという方法で、シルエットや風合いを変えないまま洗うことができるのです。繊維に影響を与えませんから、ティッシュペーパーも洗えるということになります。